



型番(4)101-0504

取扱説明書

[保証書付] JGN6KWNA 型

警報器の機能について

■ガス警報機能・CO警報機能

警報器周囲のガスやCOが規定濃度以上になると、それを検知して、注意報または警報を発します。

《お断わり》

- ガス検知部にガスやCOが到達しないときは、警報機能が働きません。
- ガスもれや不完全燃焼によるCOの発生を未然に防止する装置ではありません。
- ガスもれやCO発生などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 取付場所近くでのガスもれやCO発生には警報を発しますが、他の部屋で発生したガスやCOには警報を発しないことがあります。

■火災警報機能

火災などにより、警報器周囲の煙が規定濃度以上になると、それを感知して警報を発します。

《お断わり》

- 換気扇などにより煙が吸引され、煙感知部の煙が規定濃度以上にならないときは、警報機能が働きません。
- 火災の発生を未然に防止する装置ではありません。

火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。

- 警報器を取り付けている部屋は、火災の監視ができません。

安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

- 本取扱説明書は、保証書についています。取扱説明書はお手元に保管し、いつでもご覧いただけるようにしておいてください。

●本書は、火災による煙を感知して警報を発するものです。火災の発生を未然に防止する装置ではなく、また、火災による損害を防止することを保障するものではありません。火災による損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。

- 本取扱説明書は、内容に不明な点があった場合は、販売店(リース取扱店)または、最寄りの大阪ガスに問い合わせてください。

●本書は、ガスやCOを感知して警報を発するものです。ガス検知部は、火災による煙を感知して警報を発するものです。火災警報機能が働きません。

- 本書は、ガスやCOが到達しない場合は、ガス警報機能やCO警報機能が働きません。

TK4L5675

絵表示の内容

- 「必ず行う」事項を示しています。
- 「水ぬれ禁止」事項を示しています。
- 「分解禁止」事項を示しています。
- 「ぬれ手禁止」事項を示しています。

△危険

ガス警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。爆発の恐れがあります。

- ガス警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。

マッチやライターなど、火気を使わないでください。

- 換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入れ・切をしないでください。

電源プラグを抜かないでください。

- 部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。

CO警報音もしくは火災警報音が鳴ったら、以下の内容を必ず守ってください。

CO濃度が上昇し、短時間で生命に危険が生じる恐れがあります。また、火災により生命に危険が生じる恐れがあります。

- この警報器は火災(火災等による煙)、都市ガス(空気より軽い12A・13Aガス)および燃焼排ガス中のCOを検知します。

●都市ガス(空気より軽い12A・13Aガス)供給区域外では、お使いにならないでください。

- 火災警報音が鳴り、消火が不可能なときは、避難してください。

部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。

- 入室のため!

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

96

97

98

99

100

101

102

103

104

105

106

107

108

109

110

111

112

113

114

115

116

117

118

119

120

121

122

123

124

125

126

127

128

129

130

131

132

133

134

135

136

137

138

139

140

141

142

143

144

145

146

147

148

149

150

151

152

153

154

155

156

157

158

159

160

161

162

163

164

165

166

167

168

169

170

171

② 取付説明書（タブレット内のハンドブックに収納）



1 お願いとご注意

警報器を正しく設置していただきため、また、あなたやお客さまへの危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取付説明書には、下記の表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

！警告

作業を誤った場合に、取付作業者および使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

！注意

作業を誤った場合に、取付作業者および使用者が傷害を負う場合または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

2 施工される方へのお願い

- 取扱終了後に取付説明書に従って「6-1 自動初期点検機能の確認」、および必要に応じて「6-2 作動点検」を行ってください。なお、作動不良の場合は交換してください。また、外部機器と連動した場合は、外部機器の取扱説明書、取付説明書に基づいて連動確認をしてください。
- 必要に応じて、「3-1 警報器の説明」「3-2 お客さまへの周知事項」についてお客さまに説明を行い、ご理解を得てください。
- 警報器を梱包から出された状態で持ち運びまたは保管しないでください。

△注意

警報器には、落下などの強い衝撃を与えないように、取り扱いには十分に注意してください。
故障や誤作動の原因になります。

3 お客さまへの説明について

3-1 警報器の説明

- 警報動作および自動初期点検機能の結果の説明。
作動点検をした場合は、作動点検の結果の説明。
- 取扱説明書を必ず読んでいただくこと、取扱説明書を「警報器登録票」または「リース契約書」とともに保管していただくことのお願い。
- 取扱説明書に基づく主要な機能の説明と確認。
 - 火災警報の内容（火災警報ランプ（赤スライド）点灯、音声合成音の確認）と、警報時にとるべき処置の説明。
 - ガス警報の内容（ガス警報ランプ（赤）点灯、音声合成音の確認）と、警報時にとるべき処置の説明。
 - CO警報の内容（CO警報ランプ（黄）点滅・点灯、音声合成音の確認）と、警報時にとるべき処置の説明。
 - ガス警報、CO警報の同時警報の内容（ガス警報ランプ（赤）とCO警報ランプ（黄）の点滅・点灯、音声合成音の確認）と、警報時にとるべき処置の説明。

- 部屋の外において、ガス警報、CO警報に気づいたときにとるべき処置の説明。
- 誤報が発生する原因と処置の説明。
- 警報停止スイッチ操作の説明。
- 警報音停止
- 定期点検
- 外部機器との連動点検

3-2 お客さまへの周知事項

- 保証期間 5 年。
- 警報器の有効期限のお知らせ。（本体に貼付の有効期限ラベルに表示）
- 保証書を必ず読んで内容を理解した上で取り扱うこと。
- 警報器の移設禁止。（移設依頼時の連絡先）
- 警報器の分解禁止。
- 引越時の処置。
- 故障・異常時の連絡先。
- リースの場合、本人または配偶者が契約書の記入をしてもらい、決して子供に記入させないこと。
- リース契約の内容および解約時の措置。

4 取り付け前の確認

4-1 警報器の確認

取り付ける警報器が空気より軽い12A・13Aガス用であり、本体、電源コードに異常がないことを確認してください。

4-2 梱包品の確認

梱包品の種類と個数を確認してください。

本体…1 個	リースシール…1 枚
取扱説明書(保証書付)…1 冊	

※取り付けには、下記の別売品が必要になる場合があります。

- 外部機器への連動がある場合：接続用リード線 (4)101-0063

4-3 取付位置の確認

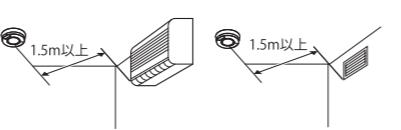
設置場所の選定については、お客さまとよく相談して決めてください。

△注意

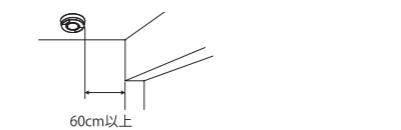
正しい取付位置に取り付けてください。
取り付けてはいけない場所に取り付けると、警報の遅れ、誤報、故障の原因となります。

正しい取付場所について

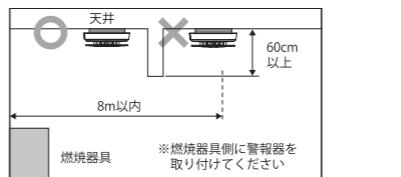
- ガス、COを検知しようとするガス機器を設置している場所と、同一の室内に取り付けてください。
- ガスやCOが滞留しやすい位置で、電源ランプ（緑）の確認しやすい位置、点検が容易にできる場所へ取り付けてください。
- ガス、COを検知しようとするガス機器（一定位置に固定しないで使用されるガス機器の場合はガス栓）から、水平距離で 8m 以内に取り付けてください。
- 換気口など、空気の吹き出し口から 1.5m 以上離してください。



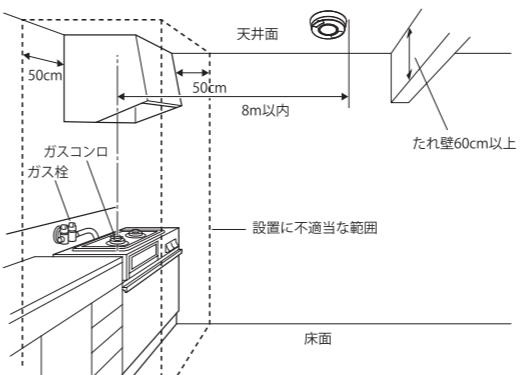
●たれ壁やはりから 60cm 以上離してください。



●天井面が 60cm 以上の突出したたれ壁などによって区画される場合は、たれ壁より燃焼器具側に取り付けてください。



■取付例



取り付けてはいけない場所について

以下の場所には、絶対に警報器を取り付けないでください。

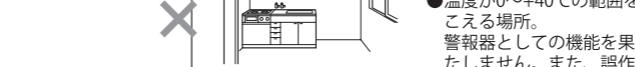
- レンジフード内やレンジフード本体への取り付け。
アルコール等で警報することがあります。
- 換気扇、給気口、ドア付近など風通しの良い場所。
- すき間風の入る場所。
- 30cm以上（警報器含）のたれ壁などの下。



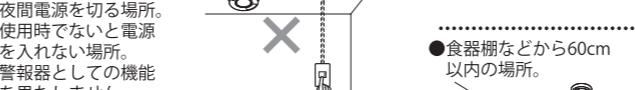
- たれ壁 60cm 以上で区切られている場所。



- エアコンなどの吹出口に近い場所。



- ビルの給湯室など夜間電源を切る場所。



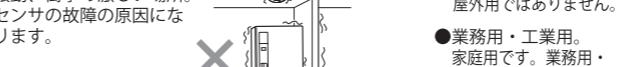
- 使用時でないと電源を入れない場所。
警報器としての機能を果たしません。



- カーテンウォールなどで仕切られた場所。
警報が遅れます。



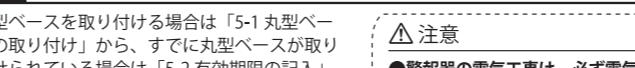
- 振動、衝撃の激しい場所。
センサの故障の原因になります。



- 屋外。
屋外用ではありません。



- 業務用・工業用。
家庭用です。

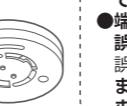


5 取り付けかた

丸型ベースを取り付ける場合は「5-1 丸型ベースの取り付け」から、すでに丸型ベースが取り付けられている場合は「5-2 有効期限の記入」から参照してください。

5-1 丸型ベースの取り付け

丸型ベース（別売品：(4)101-0054）に付属の取扱説明書に従って取り付けてください。



△注意

- 警報器の電気工事は、必ず電気工事士に依頼してください。
一般の方は、電気工事をすることができます。
- 金属管またはボックス内に電源用配線と外部出力用配線を同一配線するときは、外部出力用配線は600V絶縁電線でφ1.2mm以上のものを使用してください。
- 端子は内側が電源（AC100V）用、外側が外部出力用です。
誤結線しないように注意してください。
誤配線すると内部回路が破損します。
- また、ガス警報、CO警報外部出力用配線は、極性がありますので、正しく接続してください。

■丸型ベースの取付方法

- ベースの取付寸法はピッチ66.7mmです。

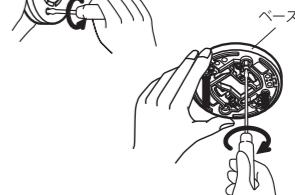
[適合ボックス]

JIS C8340 アウトレットボックス・コンクリートボックス

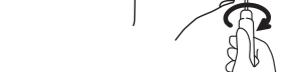
[適合ボックスカバー]

JIS C8340 丸穴カバー

- カバー取付ネジをゆるめて、ベースからベースカバーを外す。

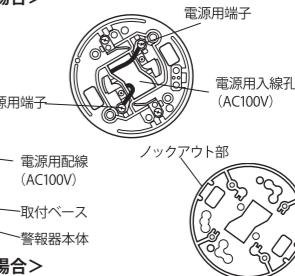


- ベースを付属の木ネジで天井に取り付ける。



- 電源線を電源用端子に、外部機器に連動させる場合は、ガス警報、CO警報外部出力用信号端子にそれぞれ下図のように配線する。

<電源線のみを配線する場合>



<外部機器に連動させる場合>



5-2 有効期限の記入

この警報器の有効期限は、取り付け後 5 年間です。
必ず、警報器本体に貼ってある「有効期限ラベル」に、有効期限の年月を記入してください。

有効期限 20 年 月 〇〇

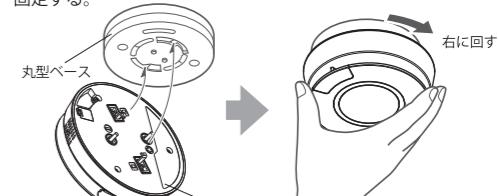
有効期限ラベル

5-3 警報器本体の取付

△注意

- 警報器の取付時に、警報器を落とさないように注意してください。
センサの断線など、正常に作動しない恐れがあります。
- 本体内にある煙感知部に触れないように作業してください。
センサの破壊など、正常に作動しない恐れがあります。

警報器本体を丸型ベースに合わせ、止まる位置まで右に回して固定する。



右に回す

警報器本体

取り付けた警報器にガタつきがないことを確認し、確実に固定されていることを確認してください。

5-4 外部機器への連動接続

■外部機器との連動対応表

上段 | ○:連動可能、X:連動不可能
下段 警報器が鳴り始めてから、各機器が作動するまでの遅延時間です。遅延時間は外部機器によって異なります。

警報器の種類 外部出力信号	火災警報 無電圧接点ON	ガス警報 DC12V	CO警報 DC18V	備考
警報時の動作 外部出力信号線 (赤・白)	火災警報 ガス警報、CO警報 外部出力コネクター (白・灰)			
みるびー・ 大阪ガス セキュリティーパートナー タイアップシステム	監視センターへ 自動通报する※1	○	○	○
マイコンメーター	ガスを止める	X	※2	○
戸外ブザー (001-0011)	警報音が鳴る	X	○	○
リモートマイコンシステム (業務用)	ガスを止める	X	○	○
業務用連動遮断システム	ガスを止める	X	○	○
ホームモニター	機種により異なりますので、各ホームモニターメーカーにお問い合わせください。			
集中監視盤	機種により異なりますので、各集中監視盤メーカーにお問い合わせください。			※4
フラッシュアラーム	機種により異なりますので、各フラッシュアラームメーカーにお問い合わせください。			

※1 必要な場合は、遠隔操作でガスを遮断し、大阪ガスあるいはOSS(大阪ガスセキュリティサービス)の係員が出動し、緊急対応します。
※2 お客様の希望により、火災警報時にマイコンメーター連動遮断させる場合は、大阪ガスにお問い合わせください。

※3 別途、警報器アダプター (101-0060) が必要です。(別売品)
※4 本体警報器は消防法上の火災警報設備の検知器として使用できません。

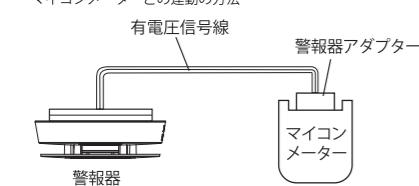
●ホームモニター・集中監視盤・フラッシュアラームに関する内容は、各メーカーにお問い合わせください。

●上記表内以外の外部機器に関する内容は、大阪ガスにお問い合わせください。

<ご注意>

1. ガス警報、CO警報出力は有電圧出力ですので、外部機器と連動する場合は極性に注意してください。
2. 複数の外部機器を連動する場合は、大阪ガスへご相談ください。
3. 外部機器は専用品をお使いください。(ホームモニター・集中監視盤・フラッシュアラームを除く)

マイコンメーターとの連動の方法



■火災警報信号の引き出し方法

<準備するもの>

接続用リード線 (別売品)

別売品型式 : (4)101-0063

外部出力 信号	リード線 No.	リード線の色 (極性)
無電圧接点 出力	2-3	赤 赤

①コネクターカバーを外してください。

②ノックアウト部をニッパーなどを使用して切り取ってください。

③接続用リード線を本体のコネクターへしっかりと差し込んでください。

④接続用リード線を引き出しながら、コネクターカバーを取り付けてください。

⑤接続用リード線を本体のコネクターへしっかりと差し込んでください。

⑥接続用リード線を引き出しながら、コネクターカバーを取り付けてください。

⑦接続用リード線を本体のコネクターへしっかりと差し込んでください。

⑧接続用リード線を引き出しながら、コネクターカバーを取り付けてください。

⑨接続用リード線を本体のコネクターへしっかりと差し込んでください。

⑩接続用リード線を引き出しながら、コネクターカバーを取り付けてください。

⑪接続用リード線を本体のコネクターへしっかりと差し込んでください。

⑫接続用リード線を引き出しながら、コネクターカバーを取り付けてください。

⑬接続用リード線を本体のコネクターへしっかりと差し込んでください。

⑭接続用リード線を引き出しながら、コネクターカバーを取り付けてください。

⑮接続用リード線を本体のコネクターへしっかりと差し込んでください。

⑯接続用リード線を引き出しながら、コネクターカバーを取り付けてください。

⑰接続用リード線を本体のコネクターへしっかりと差し込んでください。

⑱接続用リード線を引き出しながら、コネクターカバーを取り付けてください。

⑲接続用リード線を本体のコネクターへしっかりと差し込んでください。

⑳接続用リード線を引き出しながら、コネクターカバーを取り付けてください。

㉑接続用リード線を本体のコネクターへしっかりと差し込んでください。

㉒接続用リード線を引き出しながら、コネクターカバーを取り付けてください。

㉓接続用リード線を本体のコネクターへしっかりと差し込んでください。

㉔接続用リード線を引き出しながら、コネクターカバーを取り付けてください。

㉕接続用リード線を本体のコネクターへしっかりと差し込んでください。

㉖接続用リード線を引き出しながら、コネクターカバーを取り付けてください。

㉗接続用リード線を本体のコネクターへしっかりと差し込んでください。

㉘接続用リード線を引き出しながら、コネクターカバーを取り付けてください。

㉙接続用リード線を本体のコネクターへしっかりと差し込んでください。

㉚接続用リード線を引き出しながら、コネクターカバーを取り付けてください。

㉛接続用リード線を本体のコネクターへしっかりと差し込んでください。

㉜接続用リード線を引き出しながら、コネクターカバーを取り付けてください。

㉝接続用リード線を本体のコネクターへしっかりと差し込んでください。

㉞接続用リード線を引き出しながら、コネクターカバーを取り付けてください。

㉟接続用リード線を本体のコネクターへしっかりと差し込んでください。

㉟接続用リード線を引き出しながら、コネクターカバーを取り付けてください。

㉟接続用リード線を本体のコネクターへしっかりと差し込んでください。